

2012年
4月号

Mini-WAN

国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所発行(No.56)



～三河港湾事務所だより～

Mini-WANとは

港や海に関連する新鮮な話題を中心に、地元の皆さんとのつながりを大切にする広報誌です。



CONTENTS

- 三河港・衣浦港 地震・津波対策検討会議(第3回)を開催しました
- ミスみなとが1日事務所長をされました
- みなとふれあい体験イベント「トヨタ自動車(株)田原工場見学会」が開催されました
- NPO法人の楽笑さんが表彰されました
- 衣浦中央ふ頭の岸壁改良工事について



最近のトピックス



- 三河港・衣浦港 地震・津波対策検討会議(第3回)を開催しました

3月3日、公立学校共済組合蒲郡保養所「蒲郡荘」にて、豊橋技術科学大学教授の青木伸一氏を座長として三河港を対象とした検討会議を、10日にはクラシティ半田にて名古屋大学大学院教授の水谷法美氏を座長とし衣浦港を対象とした検討会議を行いました。

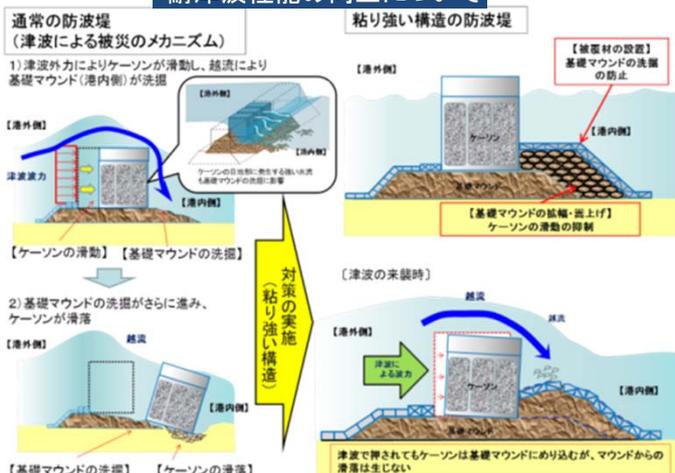
今回は、各港湾の地震・津波対策に関する基本方針(案)について了承いただき、今後、基本方針をいかに具体化していくかについて説明させていただきました。対策の方向性として、①避難対策の強化、②官民連携した防護のあり方、③耐震性・対津波性能の向上、を大きな柱として、ハード整備により対応するもの、ハード対策とソフト対策の併用で守るものについて提示させていただきました。

三河港湾事務所では、特に耐震性・対津波性能の向上に向けて取り組み、最大クラスの津波に備え、防災だけではなく減災への対策も考えていきます。



第3回 三河港 地震・津波対策検討会議の様子

耐津波性能の向上について



なお、第1回～第3回の三河港及び衣浦港の地震・津波対策検討会議の詳細につきましては、下記URLにて、ご覧いただけます。

<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/topics/jisintunamikaigi.html>



○ミスみなとが1日事務所長をされました

3月2日、第32代ミスみなと「船の女王」の神谷小百合さんに1日事務所長を務めていただき愛知県三河港務所と合同で、安全パトロールを行いました。この合同の安全パトロールは、建設従事者一人ひとりの安全意識の高揚と、建設工事のイメージアップ向上を目的として行っており、ミスみなとに参加していただくのは恒例になっております。来所された女王は、平井所長から任命を受けた後、三河港について説明を聞いてから、文書の決済や所内を巡回していただきました。



平井所長から任命を受ける神谷さん

現場で安全の訓示を行う神谷さんと洞口さん



午後からは、三河港務所の1日所長の「海の女王」洞口綾子さんと共に、当事務所の港湾業務艇「しおさい」に乗船して三河港内の各工事現場の安全パトロール及び巡視を行いました。現場では工事担当者から工事概要を聞いた後、現場の作業員方々へ安全の訓示等を行い、作業の安全を呼びかけていただきました。神谷さんは、終了式で、一日の感想と港の仕事の重要性を認識したことを述べられ、「これからも、がんばってください。」と職員を激励され、1日所長としての業務を終えられました。

○みなとふれあい体験イベント「トヨタ自動車(株)田原工場見学会」が開催されました

2月21日、豊橋市港湾活性課の主催で、トヨタ自動車(株)田原工場の見学会が行われました。日本有数の自動車港湾三河港にあるトヨタ自動車(株)田原工場では、1日2000台以上の自動車が生産され、工場に隣接する専用埠頭からは、全国の工場生産された北米向けの車が輸出されています。当日は、定員の6倍以上の応募の中から抽選で選ばれた大人26名が、ランドクルーザーや4ランナーの生産・検査ラインと専用埠頭を見学しました。参加者の方々は、機械化された生産ラインで熟練した技能をもった社員の方が作業する様子や、専用埠頭で国内用の自動車運搬船から北米向けの車が陸揚げされているところを終始興味深そうに見ていました。



社員の方の丁寧な説明にみなさん熱心に耳を傾け、積極的に質問をするなど、自動車産業や港、またそれらの関わりなどを知る有意義な見学会となったようです。豊橋市では、今後もイベントを通して、地域の方々に港の役割や三河港に関する情報を発信していくとのことです。



「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル



おーいに よくなれ みなと
0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)
※一部の地域を除きます。



国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所
〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL(0532)32-3251 FAX(0532)32-5049

衣浦港事務所
〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL(0569)21-2311 FAX(0569)21-2312

WEB <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>
E-mail info-mikawa@pa.cbr.mlit.go.jp



○NPO法人の楽笑さんが表彰されました

昨年の7月30、31日に広島県三原市において開催された「がんばろう！日本 第一回みなとオアシスSea級グルメ全国大会in三原」に出店していただいたNPO法人の楽笑さんが、3月8日、みなとオアシス連絡協議会から表彰されました。

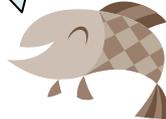
楽勝さんには中部地方整備局管内からの唯一の出店者としてご協力していただき、“ギョロケットドック”や“ちくわドック”を約460個販売することができました。

表彰状は、稲葉蒲郡市長から小田理事長に手渡され、市長からねぎらいの言葉がかけられました。



ギョロケットドック

魚のすり身をフライにした「ギョロケ」とタルタルソースの相性がナイスな一品です！



表彰状を受け取った小田理事長(右)と稲葉蒲郡市長(左)

○衣浦中央ふ頭の岸壁改良工事について

衣浦港中央ふ頭の半田緑地公園から南を見ると、海に張出した岸壁が見えます。この岸壁は、昭和54年に棧橋部分が完成し、半田市及びその周辺における海上物流の拠点として使用されてきました。

しかし、完成後約30年が経過し、施設の老朽化に伴う機能の低下が判明したため、平成22年度より安全性の確保と施設延命化を目的とした改良を実施しています。

平成24年3月までに、全延長240mのうち、約110m分の棧橋の改良工事を実施しました。撤去した古い棧橋の状態を見たところ、コンクリートの老朽化が進行している状況であり、この改良工事の重要性を改めて実感しました。平成24年度は8月から改良工事を実施していく予定となっており、平成25年3月までにはさらに約80mの棧橋の改良を行い、先端側120mは 貨物の荷役等に使用できる状態まで完成させる予定です。

1日でも早い完成を目指して、安全第一に工事を進めていきます。



改良前の衣浦中央ふ頭



一部改良実施後の衣浦中央ふ頭



～お知らせ～

ホームページに平成24年度の潮位表を掲載しております。
三河港における満潮、干潮の時刻と潮位が掲載されています。
釣りや潮干狩りなどの行楽の際にもご活用ください。



<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/lib/data/choui.html>